



チーム響き 事業報告書

2019年度（令和元年度・第9期）

1. 2019年度を振り返って
2. 2019年度 事業報告書・全体概要および事業内容補足事項・運営に関する事項
3. 2019年度 活動計算書
4. 2019年度 貸借対照表
5. 2019年度 財産目録
6. 2020年度 事業計画書

地域教育団体・ESD団体 チーム響き

1. 2019 年度を振り返って

2019 年度は障がいのある方が「安心して楽しく過ごせる居場所」を目指して活動していった 1 年でした。障がいがあると家庭環境の中でも肩に力が入ってしまう方が大勢おられます。そこでチーム響きに安心して来てもらう事で肩の力が抜ける居場所の一つとなれる団体を目指して活動してきました。そのおかげでチーム響きのイベントでは、今年も笑顔が絶えないイベントを行う事が出来、参加者の皆さんと楽しい時間を共有できましたと思っています。また、当年度から若者の夢応援事業も新しく始まり、障がい者支援だけではなく若者が自ら行いたいというイベントを率先して行う事で今までのやり方では生まれなかった新しい発想でイベント運営を行う事が出来ました。当年度は長年実現したかったグランドソフトボール（視覚障害者野球）を実現する事が出来、参加者はとても楽しそうにゲームを行っていました。ケガ等の問題で何年も実現出来なかったイベントなので無事、参加者に怪我無く開催出来て一安心したと共にチーム響きスタッフも参加者も一緒に精一杯楽しみました。

また、若者の夢応援事業を積極的に行う事で障がい者と協働して活動していく事が多く「障害に対する差別意識」を少なくする事が出来たのではないかと考えています。これからお若者がチーム響きで積極的に活動する事で障がいに対する「偏見」や「差別」を少なくしていく事を送表に活動していく所存です。

ピアカウンセリング活動では、当年度は相談件数こそ前年度より少なかったですが新規の方や病院に入り病室で話を聞く等、今までにない活動をしていく事も多かったです。また、若者の夢応援事業を行う事で今までには障がい者中心のピアカウンセリングでしたが、若者からも相談を受ける事が多くなり若者と共にチーム響きスタッフも共に成長していく事が出来た一年になりました。

岡山後楽館高等学校 演劇部と共に次年度に予定している「中津 真莉 朗読劇＆トークショー」に向けて共に前進した一年となりました。「朗読劇を通じて福祉について様々な方へ知って頂く」という想いから開始した事業ですが、後楽館の生徒さんと協働していく事でチーム響きだけでは、見えなかった視点で朗読劇を見つめることが出来ました。そして、一年間活動を通してより良い朗読劇になると考えています。

チーム響きスタッフのスキルアップのため毎年、スタッフ数名が「心理学検定」に挑戦しています。当年度は2名のスタッフが挑戦し1名が「心理学検定 2級」を取得しました。この検定が直接、支援に繋がらなくても今後の活動で活かせられる事を願っています。また、当年度からスタッフ2名が「保育士試験」に挑戦中です。

当年度は若者の夢応援事業と共に福祉教育にも力を入れました。2020 年 1 月に岡山市立 後楽館高等学校の福祉の授業でチーム響きについての話を行ったり岡山県社会福祉協議会と協働で2月に岡山家庭裁判所で福祉研修を行い、アイマスクをして裁判所内を歩くという研修を行いました。この活動を通して健常者は何が怖いか等を改めて知る事が出来、チーム響きとしても学ぶことが多かった活動でした。その後、研修の振り返りと共に次世代の福祉教育をどうするかを県内の複数の社会福祉協議会と話し合いを行いました。

当年度後半は新型コロナウイルスが日本中に拡大していきチーム響きでも様々な活動を中止・延期などの対応に追われることになりました。新型コロナウイルスの影響を受けている皆様には心からお見舞い申し上げます。先の見えない状況だからこそ「笑顔」が必要だと考えています。「集まって活動できない今だからこそ出来ることもあるのでは？」と毎日、様々な事を考えているのですが、中々良い案が出づに試行錯誤の中、進んでいます。次年度もチーム響きでは、「皆さんの意見を第一に笑顔になる活動」を行っていく所存です。この1年も変わらず、「障がい者と健常者の架け橋となる団体」を合言葉に皆さん一人一人寄り添って活動していくので、チーム響きの応援を引き続き、お願いいたします。

理事長 阿部 磨呂

2, 2019 年度（令和元年度・第9期）事業報告

(1) 障がい者の社会参加促進事業

事業名	事業内容	区分	支出	日時・場所
障がい者と健常者交流イベント	障がい者と健常者の交流を目的としたイベント・交流会	自主	60,845	別紙参照
宿泊研修	自らの社会参加を目的とした宿泊研修	自主	74,589	別紙参照
ピアカウンセリング活動	障がいの方が前向きな気持ちで社会生活が送れるためのピアカウンセリング	自主	0	岡山県内
介助活動	移動困難者への移動活動・同行活動	自主	0	岡山県内
		小計	135,434	

(2) 若者の夢応援事業

事業名	事業内容	区分	支出	日時・場所
若者中心の交流イベント	若者が発案して運営するイベント	自主	24,089	別紙参照
		小計	24,089	

障がい者と健常者の交流イベント

障がいがあっても引きこもりがちでも「ここに来れば元気に笑って過ごせる」そう楽しそうに話してくれる参加者の方がとても多くいました。このイベントを行う度にスタッフもとても元気になる事が出来ます。スポーツでは、優勝を目指して、ボードゲームでは、頭を使いレクリエーションでは、体を思いっきり使い楽しく表現していました。

(1) 卓球・STT 交流会 参加者 11名

日時 4月14日 14時～16時30分

場所 岡山県障害者体育センター

(2) グランドソフトボール体験会 参加者 13名

日時 6月30日 13時30分～16時30分

場所 旧内山下小学校

(3) ハンバーグ調理体験会 参加者 11名

日時 8月11日 13時～16時

場所 彩り(北区津島東4丁目1-33-2)

(4) 韻きレクリエーションイベント 参加者 17名

日時 12月8日 13時30分～16時30分

場所 きらめきプラザ



▲グランドソフトボール体験会



▲レクリエーションのブラックボックス



▲全盲の子も一緒に皆でハンバーグ作りました！

宿泊研修

毎年行っている県外宿泊研修、今年は大都会大阪！人が多い中、自らを使って一人で歩行を頑張ったり、観覧車に乗ったり、夜に和食を食べたりと色々な体験が出来た一泊二日でした！普段の支援では、中々見えない彼らの日常の様子がとてもよく見えた宿泊研修でした。夜の大富豪が一番楽しかったかも？

宿泊研修 IN 大阪 参加者 9名

日時 11月3日 10時～11月4日 17時

場所 大阪府内



ピアカウンセリング活動

「障がいがあって生きにくい」そういう方のために障害を持っている当事者が一緒に悩みを共有し明るく生活できるように話を聞き必要に応じて専門機関への橋渡しを行います。過去に虐待を受けていた子供をと児童相談所へ行き急遽、一時保護をしてもらう事例や性犯罪を受けた子と警察機関へ行く等があります。ほとんどの相談が緊急性の少ない物ですが、中には緊急性の高いものや生活に大きく関わるものなどがあり、チーム響きでは「小さい問題の内に解決していく」をモットーに相談を応じています。中々、専門機関との連携も難しく、うまくいかない事例があるのも事実です。一人一人としっかりと向き合い今後も活動していきます。

2018年度 相談実績

2018年度相談人数	53
2018年度相談件数	318

2019年度 相談実績

2019年度相談人数	55
2019年度相談件数	214

介助活動

チーム響きには全盲の方や車の運転が困難な方が沢山おられます。そんな方のためにチーム響きでは、移動のお手伝いを行っています。当年度は全盲の方の「コナンの映画に行きたい」という想いに高校生達が賛同してくれて大人数でコナンの映画を見に行くことになりました。小さい活動でここまで人数が集まるのは団体設立後、初めてでとても感動しました。

介助人数 4人

介助回数 14回



▲「遊びに行きたい」の一言から



▲本当にすごい人数で映画を見に行きました

若者中心イベント

時代の中心は若者ですよ！高校生の子の発言からイベント運営などを高校生に任せる様になりました。今までにない形だけど楽しいイベントを沢山作ってくれる高校生！本当に頼りになります。

少しおっちょこちよいな所も見ていて微笑ましい限りです。

- (1) 明誠ボランティア部×チーム響き 交流会 参加者 19人
日時 6月9日 13時30分～16時30分

場所 京山公民館

- (2) 明誠高校主催 卓球・STT 交流会 参加者 11名
日時 10月13日 13時～16時
場所 岡山県障害者体育センター
- (3) 後楽館発案 ボードゲーム大会 参加者 17人
日時 1月12日 13時15分～16時30分
場所 旭公民館



▲交流会でボードゲームや談笑中



▲めちゃくちゃ楽しんでた後楽館生



▲優勝しました (QUO カードゲット)

運営に関する項目

総会開催日 5月20日 旭公民館 14時～16時

参加者 7名（委任状 2名） 欠席 4名（全体 11名）

その他事業

参加した項目	回数	責任者
ドリーマー交流会	4	阿部 磨呂
高校生ボランティアアワード	1	石井 妥和
後楽館演劇部 朗読劇練習	5	神門 佑弥
街中文化祭	隨時	石井 妥和
後楽館福祉事業	1	阿部 磨呂
裁判所福祉研修	1	阿部 磨呂
次世代福祉教育検討会	1	阿部 磨呂
対談インタビュー	1	阿部 磨呂
中津 真莉 朗読劇＆トークショー	隨時	阿部 磨呂
福祉物品販売	隨時	仁科 彰人
福祉研究	隨時	刀禰 豊

活動計算書

令和元年 年 4月 1日 ~ 令和2年 年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	73,700		
賛助会員受取会費		73,700	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	50,583		
		50,583	
3. 受取助成金等			
受取公の助成金	0		0
4. 事業収益			
社会参加促進事業	103,500		
若者の夢応援事業	8,521		
		112,021	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	19,899	19,899	
経常収益計			256,203
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	0		
賃借料	64,816		
地代家賃			
印刷製本費	9,000		
消耗品費	26,000		
旅費交通費			
諸謝金	11,000		
会議費			
諸会費			
租税公課			
水道光熱費			
支払手数料	220		
雜費			
材料費	48,487		
会場費			
その他経費計	159,523		
事業費計		159,523	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	0		
印刷製本費	0		
会議費	0		
その他経費計			
管理費計		0	
経常費用計			159,523
当期正味財産増減額			96,680
前期繰越正味財産額			34,376
次期繰越正味財産額			131,056

令和2（2020）年度の事業計画書

法人成立の日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 チーム響き

1 令和2（2020）年度 事業実施の方針

特定非営利活動の1つ目の事業：障がい者の社会参加促進事業は、「介助」「相談」「イベント」の3つの活動を主として形成されています。「介助」については支援者の個別性が高いことから、体調や精神状況をしっかりチェックして対象者に寄り添う支援が重要になってきます。当団体では基礎的な介助技術を習得したうえで、技術以上の支援を必要としている方にも寄り添って、ご要望にできる限り応じていく事を大切にします。全ての活動に欠かせないボランティアの募集や育成については、プロジェクト毎に必要に応じて実施し、高校やボランティアセンター等を通じて充分なボランティアを確保すると共に、専従できるスタッフの育成に力を入れます。「相談」については、岡山県内に在住されている精神的に悩みを抱えている方に対してカウンセリング・ピアカウンセリングを行い、前向きな自立を促します。「外へ出る事」が必要な相談者には「障がい者と健常者の交流イベント」を紹介し、他団体とも連携して参加を促します。多くの悩みを抱えている方も笑顔で社会生活を送って欲しいと思っています。

特定非営利活動の2つ目の事業：若者の夢応援事業では、学生を中心に「楽しいことをしたい」「夢に向かって頑張りたい」という思いに応え、充実した学生生活を送って将来に役立てることができる様に若者が主体で動ける環境のもとイベントを企画しています。また、当年度は高校生を中心に複数校連携して表町商店街で文化祭を行って地域の連携をより強いものにしていこうと考えています。

以上、2の事業を中心に「障がい者の自由な社会参加」を理念に活動を行っていきます。この活動により多くの障がい者が自由に自分の意志で様々な選択を出来るようにしていきたいと思います。

また、今年度は障がい者福祉に理解ある「声優（女優）」を招待し、福祉と文化を語るイベントを行います。朗読劇を通して多くの市民に障がいについて知って貰いたいと考えています。

このイベントは「障がい者の夢を叶える」「中高生の夢を応援する」「福祉について沢山の方に知ってもらう」という3つの目的で開催します。若い世代や福祉にあまり関心がない方にも気軽に福祉活動の楽しさについて知ってもらい、相互扶助の街作りを目指していきたいと考えています。

以上の活動から、「選択出来る環境づくり」「自立」「人と人との懸け橋になる」の3つを合言葉に各事業を行い、響きの目指す「自由な社会参加」の実現に向けて取り組んでいきます。課題解決に向けて活動が大きくなれば資金も必要になります。今後、スタッフの増員やスタッフ教育に力を入れ、資金調達・運用にも力を注ぎます。

今年度は、この事業計画を動かしていく目標として「団体内相互扶助」をスローガンに組織内でお互いに支え合い補い合って一丸となって目標を達成し成長したいと思います。問題に直面した時に常に相互扶助が発揮され、即時解決が出来る様になれば最高です。また、ボランティアスタッフに対しても常に困りごとや悩みを気軽に相談できる雰囲気づくりで長期活動できるボランティアを育てます。

2 事業の実施に関する事項

①定款の事業名：障がい者の社会参加促進事業

プロジェクト名	プロジェクト内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の範囲 及び予定人数（合計）	支出見込 額 (円)
交流イベント	障がいの有無にかかわらず参加できる交流イベント	年間8回程度 (設立後)	岡山県内	障がい・健常者に限らず交流希望者/105人程度	200,000
ピアカウンセリング	精神的に問題を抱えている方へのカウンセリング	随時（設立後）	岡山県全域	精神的に障がいを抱える市民/70人程度	150,000
ADLヘルプ	視覚障がい、車椅子の方のための介助研修と実習・実施	随時（設立後）	岡山市全域	障がい者介助に興味のある市民/35人程度	150,000
朗読劇＆トークショー	福祉に理解ある声優（女優）を招いて「福祉×文化」をテーマに朗読劇とトークショーを開催する。当年度は中津真莉さんを招聘	年1回（設立後）	国際交流センター	若者を中心とした岡山県域の市民/200人程度	400,000

②定款の事業名：若者の夢応援事業

プロジェクト名	プロジェクト内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の範囲 及び予定人数（合計）	支出見込 額 (円)
学生交流イベント	高校生・大学生が自主的に企画・運営し、夢を語り合う交流イベント	年間2,3回程度 (設立後)	岡山市内	岡山県内高校生・大学生/35人程度	100,000
高校生連携文化祭	複数の高校が連携して商店街で開催する文化祭	年1回 (設立後)	表町商店街	岡山市内高校生を中心 に市民/200人程度	150,000
				設立当初事業年度 事業費計	
				1,150,000	

VISION

障がいの有無に関係なく全ての人が社会へ出ていける社会づくり

方法・対象

対象 障がいや社会障壁などで社会へ出ていきにくさを抱えている方
悩みなどを抱えている若者

方法 イベント開催
カウンセリング支援
移動支援 等